

和歌山県の地震

令和8年2月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 3

2. 地震一口メモ

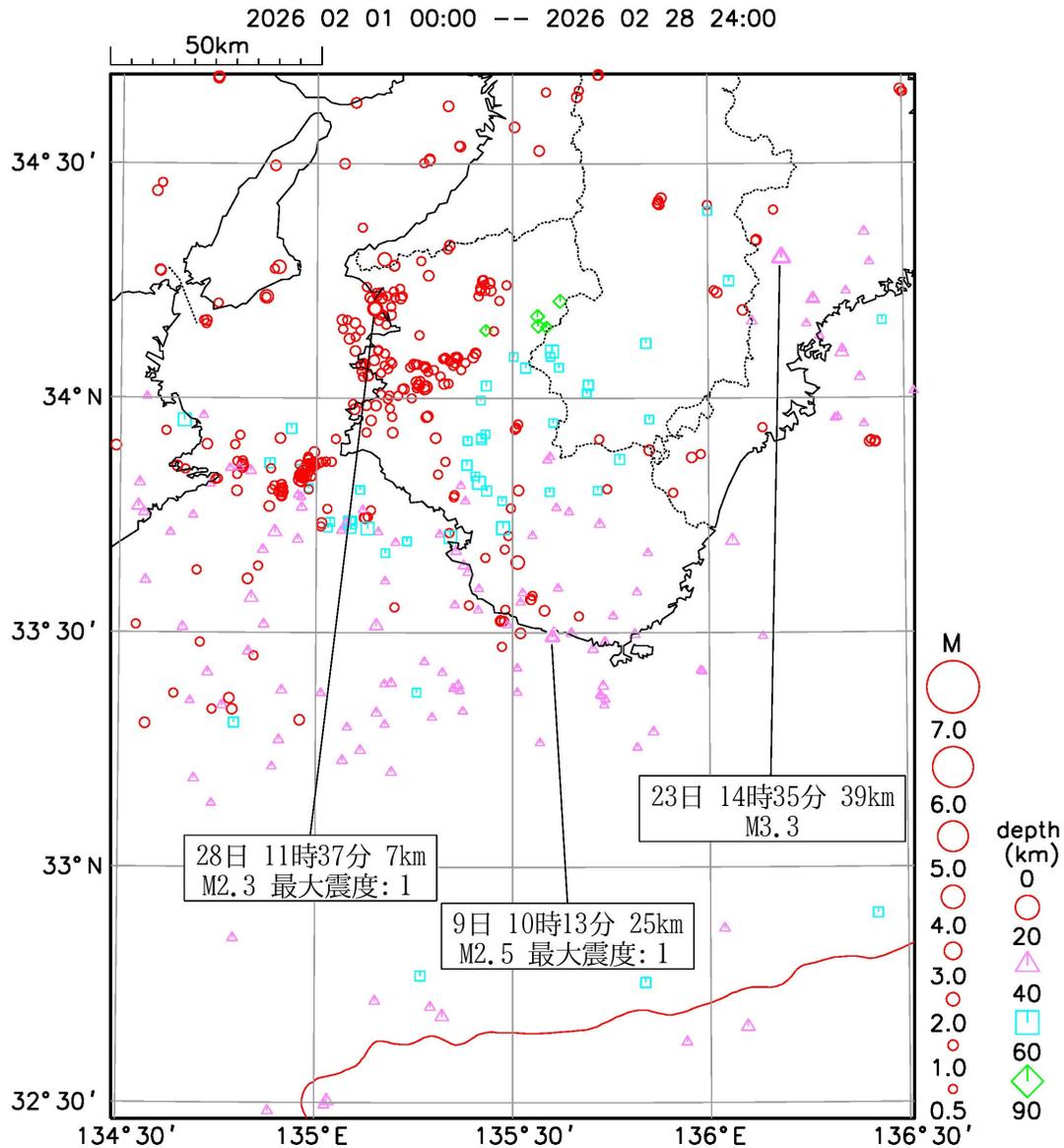
南海トラフ地震関連解説情報について	・・・・・・・・ 4
-------------------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】



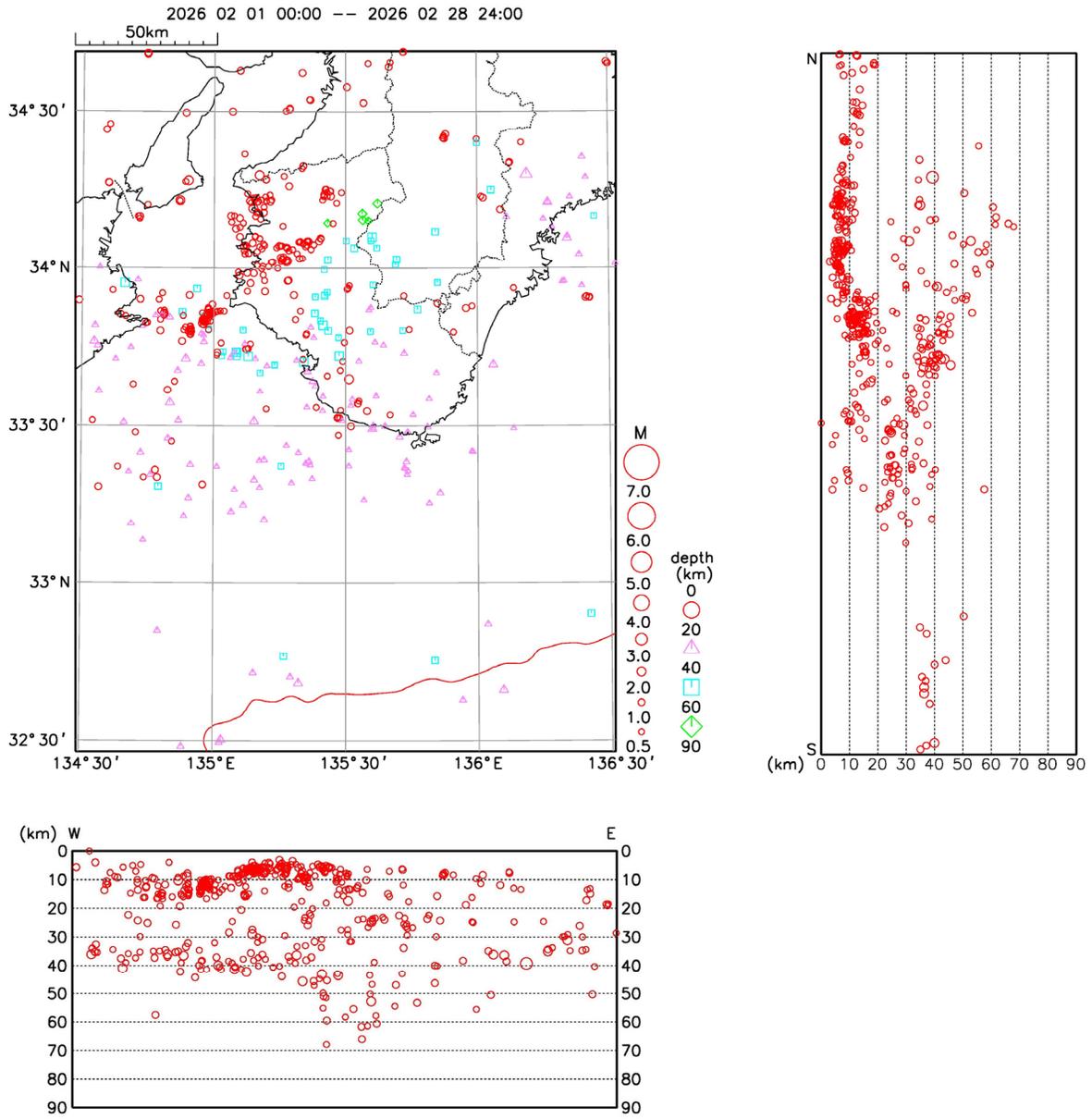
震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。
シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。
図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています（最大震度は、和歌山県内とは限りません）。

【概況】

2月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は26回（前月は23回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、23日14時35分 三重県南部の地震（M3.3、深さ39km）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

2月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、2回（前月9回）でした。

【断面図】



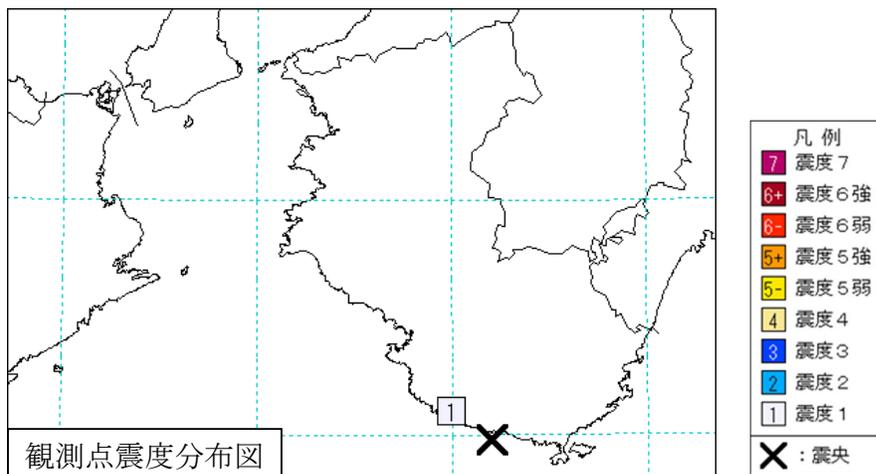
【 和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時 (年月日時分)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度 (和歌山県内のみ掲載)					
2026年02月09日10時13分	和歌山県南方沖	33° 29.4' N	135° 36.0' E	25km	M2.5
和歌山県 震度 1 : すさみ町周参見*					
2026年02月28日11時37分	紀伊水道	34° 11.4' N	135° 08.8' E	7km	M2.3
和歌山県 震度 1 : 和歌山市一番丁*					

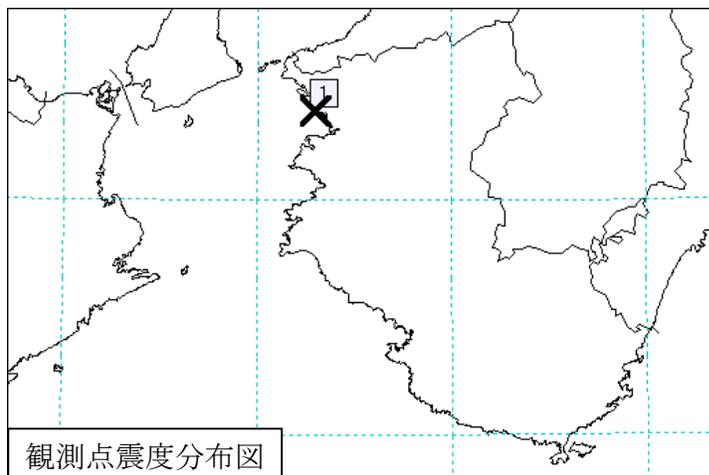
地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【 震度分布図 】

2026年02月09日10時13分 和歌山県南方沖 (深さ25km、M2.5)



2026年02月28日11時37分 紀伊水道 (深さ7km、M2.3)



2. 地震一口メモ

南海トラフ地震関連解説情報について

—最近の南海トラフ周辺の地殻活動—

気象庁では、大規模地震発生の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会（*1）、地震防災対策強化地域判定会（*2）を毎月開催しています。

南海トラフ地震の監視領域において、図のように「南海トラフ地震臨時情報」を発表するような異常な現象に至らない規模（マグニチュード）の小さな地震や低周波地震と呼ばれる体に感じない地震や、「ゆっくりすべり」とよばれる、揺れも津波も起こさずにプレート境界がずれ動く現象が定期的に観測されています。定例の評価検討会ではこれらの観測結果やその他関連する調査結果等を評価検討し、『南海トラフ地震関連解説情報』として毎月1回発表しています。

『南海トラフ地震関連解説情報』は、関連する自治体や防災機関、マスコミ等に発表したことをお知らせするほか、検討資料を含め気象庁ホームページでも公表しています。

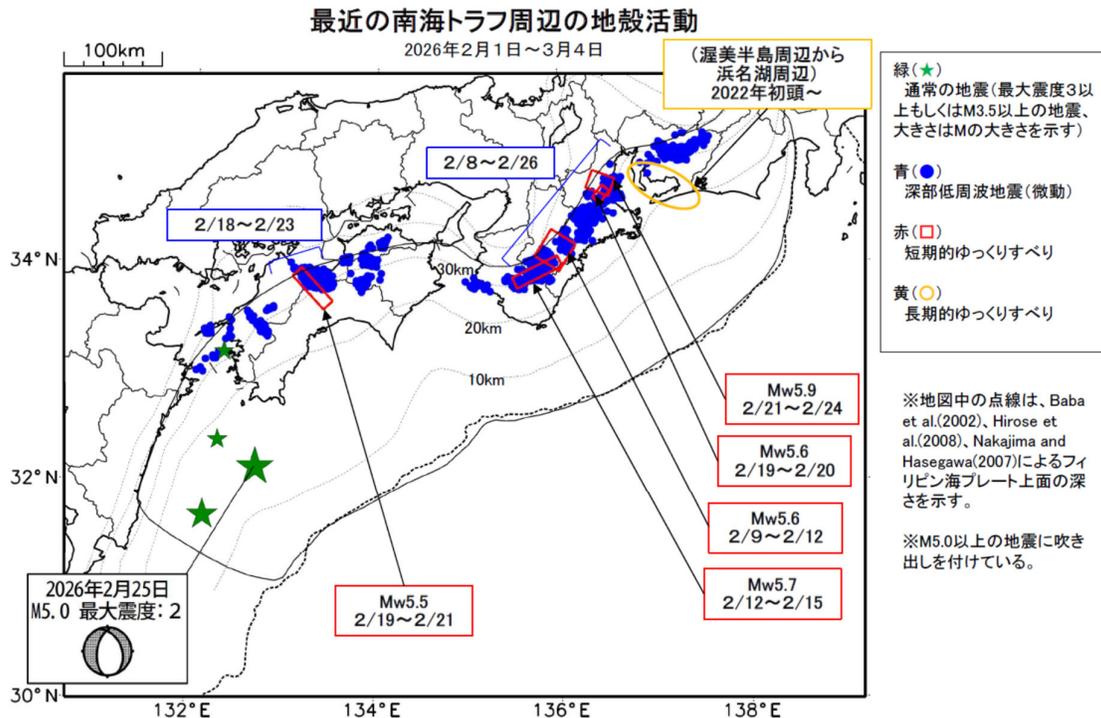


図 南海トラフ周辺の地震活動等の状況
(令和8年3月6日報道発表資料より抜粋)

南海トラフ地震関連解説情報 <https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>
最新の南海トラフ地震関連解説情報について —最近の南海トラフ周辺の地殻活動—
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2603/06d/nt20260306.html>

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会（*1）：観測データに異常が現れた場合に南海トラフ地震との関連性を緊急に評価するための臨時の会合と、平常時から観測データの状況を把握するために毎月1回開催している定例の会合がある。

地震防災対策強化地域判定会（*2）：東海地域で異常な現象が捉えられた場合に開催される検討会。現在は、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会と一体で検討を行っている。